2013-2014年度今治ロータリークラブ週報 No.9

第９回例会報告（9月5日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５５名　・出席数　３４名　・欠席数　２１名
・当日出席率　６４．００％　・前々回修正出席率　９４．００％
＜欠席会員＞原田、原、檜垣(賢)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、平田、冠、木村、桑森、宮本、岡田、尾越、大澤、重松、竹田、田中、藤堂、吉田
〔免除会員〕飯、松本、八木
<8/22 欠席補填>(8/12 今治北)檜垣(賢)、檜垣(俊)、冠、吉良、桑森、光藤、村上(裕)、尾越、重松、山本、吉田
(8/13 今治南)平田、近藤

◇会長報告・あすなろ学園より寄付のお礼状が届きました。
◇幹事報告・彦根ロータリークラブよりバナー画像提供のお礼が届きました。
・9月2日より常在の地区ロータリー財団事務所を高松に設置しました。
◇親睦活動委員会・誕生日スピーチ・白石洋治会員：69歳になり、子どもたちが古希の祝いをしてくれた。人生の節目は喜寿、傘寿、米寿、白寿、百寿と続く。日本の最高齢は116歳とか。まだまだ頑張りたい。▼高木幹男会員：間もなく81歳です。私は11代続いた江戸っ子のなれのはて。24歳からこちらに住んでいるのに、今治弁はしゃべれず、なじんでいない。でも友人は「お前は立派な関西人だ」と言う。死ぬときはどうせこっちなので、よろしくお願いします。

会員卓話

◆青野明高会員「ウランバートルRC表敬訪問報告」:海外支援協力シニア隊員としてウランバートルにいる大学時代の友人から、「観光を兼ねて来ないか」と誘われ、７月末から８月７日までモンゴル各地を訪問。ウランバートルRCともバナー交換をしてきた。▼同国は日本の約４倍の国土に約270万人が住む。１年の大半は氷点下30度前後で氷雪に閉ざされ、国民１人当りの生計費は月１～３万円と貧しい。1991年のソ連崩壊後は共産主義から資本主義に変わり、経済が大混乱。失業者が増え、親を亡くしたり、捨てられたりする子が増えた。行き場を失った子どもはマンホール内の通湯パイプに身を寄せ、寒さをしのいだ。マンホールチルドレンは数千人以上。住まい、食料確保、メンタルケア、教育など対応が急務だ。▼ウランバートルRCには日本人の江口喜多枝さんがいらっしゃった。彼女の素晴らしい活躍をお伝えしたい。江口さんは57歳。慶応大卒業後、米国留学などを経て、東京・京橋の実家の老舗生花店を継ぐ一方、東京神宮RCチャーターメンバーとして世界社会奉仕・人道援助部門で世界を飛び回った。14年前からはモンゴルのマンホールチルドレン救済のため、支援するNGOの日本代表を務めるかたわら、母子家庭の自立へパン・アイスクリーム工場寄贈、職業訓練校への学費援助、医療器具寄贈など実施。とうとう東京神宮RCを退会、ウランバートルへ移籍した。江口さんに救われた子どもは1000人以上と思われる。▼奉仕こそが人、社会、国、世界に感動を与え、後々感謝されるというロータリーの真髄を学んだ。私は50歳で身体障害２級となったが、支えていただいた皆様に感謝し、同じ境遇の子どもたちに少しでも役立てばと小さな奉仕を続けている。江口さんには及ばないものの、この奉仕をコツコツと続けたい。

新世代奉仕委員会アワー

◆青野賢治幹事:2016年夏にインターアクトクラブの年次大会が今治である。１年あるいは半年かけて下準備をしてきちんとした形をつくらなければならない。**◆阿部真弓委員長:**年次大会について情報発信ができていないのが反省点。週報の中で友の会やインターアクトクラブの活動を掲載、興味を持っていただけるようはたらきかけたい。

＜ゲスト＞　今治南RC　村上竜司様＜不動産管理＞

次回例会（9月12日）

【 ロータリー情報委員会アワー 】

＜会員誕生日祝＞　光藤　廣司氏（9/19）
＜配偶者誕生祝＞　菅　主浩氏（9/13）　八木　祐氏（9/19）　大澤　正尚氏（9/21）
檜垣　巧氏（9/28）　八木　正史氏（10/2）
＜結婚記念日祝＞　村上　裕一氏（9/14）　岡本　康利氏（9/15）　八木　正史氏（9/17）
檜垣　直孝氏（9/23）　高木　幹男氏（10/1）　藤堂　宗昭氏（10/2）
＜入会記念日祝＞　檜垣　巧氏（10/1）　吉良　敏彦氏（10/1）

〔 健寿司 〕